

 住友林業

2012年4月1日～2012年9月30日

株主のみなさまへ





代表取締役 会長 矢野 龍

代表取締役 社長 市川 晃

Q1 当上期(第2四半期連結累計期間)の事業環境と住友林業グループの取り組みについて教えてください。

復興需要や政府による住宅取得促進策の後押しもあり、業績は総じて堅調に推移しました。また、今年4月に組織改正を行い、事業環境の変化に柔軟に対応し、経営資源を効率的に機能させる体制を整えました。

当上期における日本経済は、東日本大震災の復興関連需要等を背景に、公共投資や企業の設備投資が増加する等、国内需要が牽引し、緩やかな景気回復の動きが見られました。住宅市場におきましても、復興需要や政府による住宅取得促進策の後押しもあり、新設住宅着工戸数が持ち直し傾向にある等、緩やかに回復しつつあります。

このような事業環境の下、当社グループでは、今年4月に組織改正を行い、事業環境の変化に柔軟に対応し、経営資源を効率的に機能させる体制を整えました。当上期の業績は、前年同期に発生した、震災影響による、木材・建材の流通事業における輸入商品の販売増加等の要因がなくなったため、売上高、利益水準とも前年同期実績を下回ったものの、この特殊要因を除けば全般的に堅調に推移し、売上高3,921億円(前年同期比0.7%減)、経常利益75億円(同23.3%減)、四半期純利益36億円(同36.1%減)となりました。

なお、今年8月に発生いたしました、当社の準耐火建築物の一部における「大臣認定仕様の不適合」につきましても、ご心配をおかけしましたが、該当する物件に対する新たな国土交通大臣認定の取得が順調に進んでおります。株主の皆さまのご支援に感謝申し上げます。

Q2 下期の事業環境と通期の見通しについて教えてください。

事業環境は予断を許さない状況が続きますが、今期の計画を着実に達成するとともに、「経常利益200億円体制」の総仕上げとして強固な事業構造を構築してまいります。

世界経済の減速懸念により、当社を取り巻く事業環境は依然として不透明な状況が続いています。このような中、当社グループでは、今期の計画を着実に達成するとともに、短期的な環境変化に左右されない強い事業構造を構築してまいります。

具体的には、コア事業の木材・建材流通事業については、国内でのトップシェアを維持し、海外においては、今期新設した上海、ベトナム等の現地法人を中心に、新興国市場での販売拡大を図ります。同じくコア事業の新築注文住宅事業は、都市圏の強化など各種施策を実施し、さらに競争力を高めます。またストック住宅事業については、主力のリフォーム事業において、高い技術力を背景に引き続き業容を拡大してまいります。海外事業については、長期的なビジョンを持ち、地域社会に貢献し評価される事業展開を行ってまいります。

こうした取り組みにより、今期は通期で売上高8,450億円(前期比1.6%増)、経常利益230億円(同11.0%増)*を見込んでいます。また、この下期は、「経常利益200億円を安定的に計上する体制」構築の総仕上げであると同時に、次の新たなステップに向けての重要な時期と位置づけ、強固な事業構造の構築に注力します。

※今期予想には退職給付会計に係る数理差異の影響は含んでおりません。

Q3 住友林業グループの今後の取り組みについて お聞かせください。

コア事業の安定収益を維持・強化するとともに、ストック住宅事業の拡大、海外事業の収益貢献に尽力してまいります。

当社グループでは、将来の事業環境のベースとして、「国内新築住宅市場の縮小」「リフォーム市場をはじめとするストック住宅市場の拡大」「海外市場の拡大」の3つを据えています。

そのため、コア事業である木材建材事業と新築注文住宅事業は、現在の安定収益を維持・強化してまいります。また、ストック住宅事業は、主力の「リフォーム事業」に加え、マンションも含めた中古住宅の再生・再販を行う「リノベーション事業」「不動産仲介事業」および「不動産管理事業」などの多様な事業体がシナジー効果を発揮して、グループ全体としてストック住宅市場への深耕を図ります。一方、海外事業では、地域ごとの事業環境に合わせた対策を講じることで、メリハリのある事業展開を積極的に進めてまいります。

そのほかにも、国内における次の時代の柱となる事業を育てるために、今期は、介護付き有料老人ホームの運営等のシルバー事業などを推進する「生活サービス本部」を新設し、お客さまの多様なライフスタイルをサポートするための体制づくりを行いました。また、非住宅分野での木造化、木質化を推進している木化事業^{もっか}については、2012年7月に宮城県東松島市の新たな産業の創出、木を軸とする「木化都市」の実現を目指す復興まちづくりのサポートを開始しました。

住友林業グループは、今後も事業を通じて社会の役に立ち、再生可能で人と環境にやさしい資源である「木」の付加価値をより高め、豊かな地球環境づくりにつなげていけるよう努力を重ねてまいります。

株主の皆さまには、今後とも当社グループの事業内容をご理解いただき、末永くご支援いただきますようお願い申し上げます。

住友林業の家づくり
ビッグフレーム
構法

末永く住み継がれる家を カタチにする、 独自の建築技術 ビッグフレーム構法

震災後、住まいの安全性への関心が高まっています。

今回の特集でご紹介する、住友林業が独自に開発したビッグフレーム(BF)構法は、日本で初めて木質梁勝ちラーメン構造*を実現しました。その特長は優れた耐震性を確保しながら開放感あふれる住まいを可能にすることです。

優れた耐震性・耐久性を備え、
大空間を自由設計できる
「BF構法」



日本の住宅は、これまで20年から25年のサイクルで建て替えられるスクラップ&ビルドが繰り返されてきました。住友林業は、この発想から脱却し、2世代、3世代にわたって住み続けられる良質な資産としての住まいを実現するために、BF構法を開発しました。

BF構法は、「ビッグコラム」と呼ばれる独自の柱と梁による強固な、日本で初めての木質梁勝ちラーメン構造です。「ビッグコラム」は一般的な柱の5倍以上も幅があり、耐力壁の役割も果たすことから、耐久性・耐震性を確保しながらも壁が少なく開口部が大きな住まい

をつくることができます。

また、通し柱を必要としないことから、上下階の柱位置が異なる間取りが設計可能となるなど、設計自由度が高く、住む人のライフスタイルに合わせて間取りを自由に変更できるのも大きな特長です。

*ラーメン構造: ラーメンとは、ドイツ語で額縁・フレームを意味し、柱と梁で作るフレームをさしてラーメンと呼びます。ラーメン構造とは、柱や梁を接合する「ラーメン」部分が強固に接合され、建物を支える堅牢な構造のことです。



耐力壁の役割も果たすビッグコラム

GOOD DESIGN

住友林業 BF
SUMITOMO FORESTRY

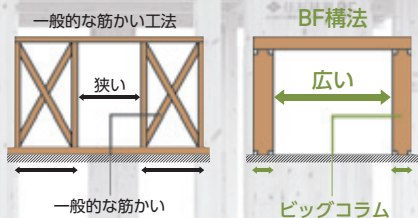


環境意識の高い北欧の地で 認められた技術力の高さ



BF構法の技術は海外でも高い評価を得ています。地球温暖化防止のため、国を挙げて木造建築の増加に力を入れているスウェーデンでは、1995年に法律が改正され、木造でのビル建設が可能となりました。これを機に特に木造建築に積極的な同国北部のシェレフテオ市では、木造建築を増やす計画を立て、今では分譲マンション、オフィスビルにとどまらず、大規模ショッピングセンター、空港の管制塔までもが木造建築です。しかしこれらの木造建築の技術は壁で支える構造のため、建築後に間取りを変えにくいという問題がありました。そこで白羽の矢が立ったのが、間取りの可変性に優れる住友林業のBF構法です。スウェーデン王国SP技術研究所から要請を受けた当社は、BF構法の基幹技術を提供し、その結果、同構法を使用した学生寮が建設されました。

●一般的な筋かい工法とBF構法の違い



BF構法は一般的な筋かい工法の耐力壁に比べ、必要な壁の長さが短い。

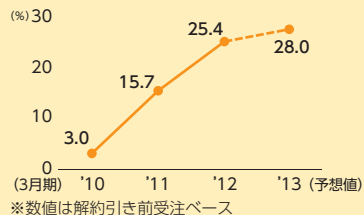
2009年10月には、平屋・2階建て商品の「BF-Si(ビーエフエスアイ)」の販売も開始。住む人が理想とする間取りをナビゲートする参考プランをご用意するとともに、高いコストパフォーマンスを実現したことで、お客さまからも好評です。特に震災以降はお客さまの「耐震性・安全性」への関心が高まり、BF構法による住宅商品の受注・販売が飛躍的に伸びました。

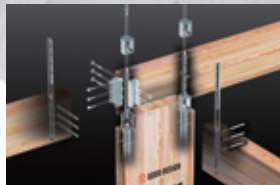
高品質な木の住まいを 進化させる 技術革新の積み重ね



BF構法は、2005年2月に、木造3階建て住宅「Proudio-BF(プラウディオビーエフ)」として発売以降、高い評価と信頼をいただき、建築実績を積み上げてきました。

●受注棟数に占めるBF構法の割合





2012年10月、 よりパワーアップした NewBF構法が登場



2012年10月、住友林業は従来よりもさらに耐震性や設計自由度を向上させたNewBF構法を発売しました。基本構造材であるビッグコラム接合部の金具を改良した結果、ビッグコラムの構造強度を壁倍率^{*}で換算して約4割アップ

させることに成功。ビッグコラムの設置本数の最適化が図れるため、設計自由度が以前にも増して高まりました。住友林業では今後も先進的な技術を追求するとともに、お客さまのニーズに的確に応える商品開発を続け、長く愛され続ける家づくりを進めてまいります。

※壁倍率：ある壁の強さ（剛性）を基準として、その基準の何倍の強さがあるかを示したものの。

横綱白鵬関を起用し、力強さを訴求する 「NewBF構法」のテレビCMを放映



NewBF構法の発売に合わせ、圧倒的な強さを誇る横綱白鵬関に、同じく圧倒的な強度を誇る当社の「BF構法」の木造注文住宅を重ね合わせたテレビCMを放映しています。

BF構法で建築した2階部分に設置した約10トンの土俵上で、不知火型の土俵入りをする横綱白鵬関の力強さからBF構法の強さを喚起させる内容となっています。また、3階部分で力士が稽古をするシーンを用いて、BF構法の強さを訴求。今後もテレビCMに加え、雑誌、WEBを総合的に組み合わせた積極的な広告展開を通じて、技術力の高さと商品の認知度向上を図ります。



住友林業グループの
シンボルキャラクター
“きこりん”

特集
2

今回は住友林業の家づくりを縁の下から支える、敷地調査のスペシャリストをご紹介します。

家づくりの礎を支える敷地調査のスペシャリスト



安全で快適な質の高い 住環境の実現のためには、 迅速かつ丁寧な敷地調査が必要です。

当たり前なことを当たり前により遂げることの大切さ

敷地調査や意匠施工図面の作成、性能評価・各種申請業務、積算など、家づくりには、たくさんの仕事の積み重ねが必要です。安全で快適な家づくりを貫く住友林業は、こうした縁の下の力持ちともいえる地道な作業にも決して手を抜くことはありません。その当たり前の仕事を当たり前により遂げ、安全・快適の礎を下支える、それが住友林業アーキテクノの仕事です。敷地調査には、家づくりに欠かせない3つの重要な調査、①敷地の寸法や隣地との高低差など

を測る「測量」、②建物が傾いて沈下を引き起こす原因が地中にあるかを探る「地盤調査」、③都市計画法や建築基準法など敷地に対する制限を調査する「役所調査」があります。なかでも、地盤の性質や強さを測定するには、確かな技術と豊富な経験、調査実績を有するスペシャリストの存在が欠かせません。千葉事業所で敷地調査を担当する合屋直樹もそのひとりです。

住む人の安心・安全を守る大切かつやりがいのある仕事

住む人の安全の礎となる敷地調査は、細部まで見落としのない丁寧な調査が求められる仕事です。「各現場にかけられる調査時間は2~3時間で、迅速な作業が求められます。常に緊張感を持って業務にあたるのは大変ですが、その

分、やりがいを感じています。これからもさまざまな部署と密な連携を図りながら、新しいニーズにも柔軟に対応し、安心・安全な住友林業の家づくりを支えていきたいと思ひます」と合屋は話します。

住友林業アーキテクノ株式会社
東日本センター 建築調査部
千葉事業所 敷地調査グループ
課長代理

合屋直樹の取り組み

Profile
1998年入社。入社以来、数多くの測量・地盤調査の経験と実績を積み上げています。



①測量



②地盤調査



③役所調査

□ 財務ハイライト ※億円未満を四捨五入しています。

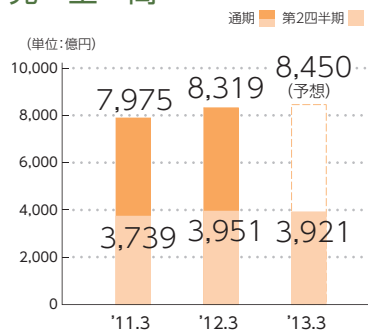
(単位:億円)

	2012/3期 第2四半期 (2011年4月 1日から 2011年9月30日まで)	2012/3期	2013/3期 第2四半期 (2012年4月 1日から 2012年9月30日まで)
売上高	3,951	8,319	3,921
営業利益	94	192	68
経常利益	98	207	75
四半期(当期)純利益	56	93	36
総資産	5,035	5,035	5,097
純資産	1,668	1,693	1,704

(単位:円)

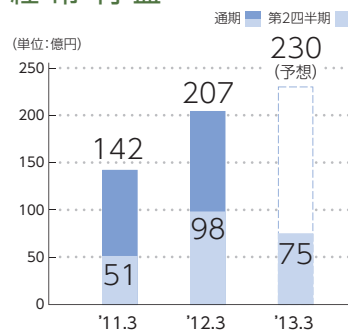
1株あたり四半期(当期)純利益	31.87	52.34	20.37
1株あたり純資産	940.20	954.81	957.48
1株あたり配当金	7.5	15.0	7.5

売上高

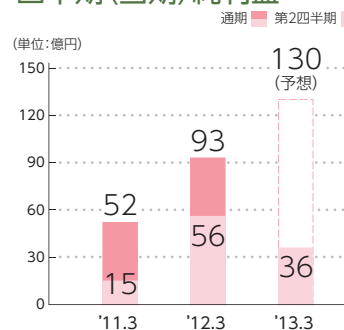


※2013年3月期予想には、退職給付会計に係る数理差異の影響を含んでおりません。

経常利益



四半期(当期)純利益



□ セグメント情報

木材建材事業

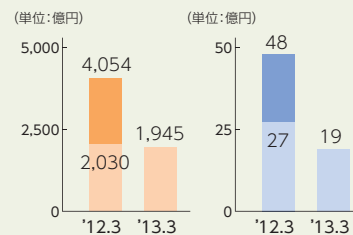


国内外から良質な木材・建材を仕入れ、国内外取引先向けに販売する流通事業と、国内で建材を製造する製造事業を行っています。

[概況]

国内の木材・建材流通事業におきましては、震災の影響により輸入合板を中心に需要が急増した前年同期に比べ、取扱数量が減り、売上高が減少しました。海外流通事業につきましては、上海・ベトナムに現地法人を設立し販売体制を強化しました。

売上高 経常利益
 通期 第2四半期 通期 第2四半期



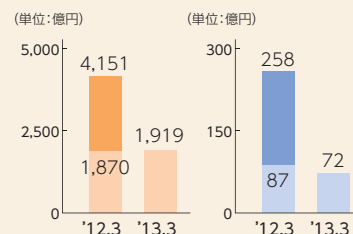
住宅事業



戸建注文住宅事業を軸に、リフォーム、不動産の仲介・管理などのストック住宅事業、新築分譲住宅事業など、住生活に関する幅広い事業を展開しています。

[概況]

太陽光発電システムおよび家庭用燃料電池「エネファーム」等の環境配慮機器の搭載比率が増加したことから1棟当たりの単価が上昇し、戸建注文住宅事業の売上高は増加しました。また、リフォーム事業においても、業績は順調に推移しています。



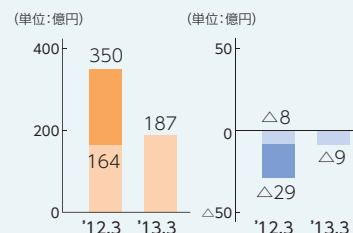
海外事業



植林事業、建材製造事業および、米国などの環太平洋を中心に住宅事業を展開しています。

[概況]

建材製造事業については、ニュージーランドにおいて、日本向けの販売が好調であったため、業績は堅調に推移した一方、豪州、中国は苦戦しました。住宅事業については、市況が回復している米国は損益改善が進みましたが、豪州は同国経済鈍化の影響から業績は伸び悩みました。



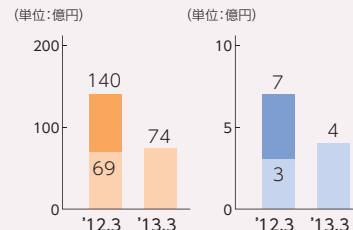
その他



介護付き有料老人ホームの運営事業、リース事業、住宅顧客等を対象とする損害保険代理店業務等の各種サービス事業、農園芸用資材の製造販売事業、グループ内各社を対象とした情報システム開発等を行っています。

[概況]

業績は前年同期比で増収増益となりました。



※各事業の売上高、経常利益はセグメント間取引を含んでいます。

※セグメント変更に伴い、過年度の数値については、新セグメント区分に組み替えて表示しています。

事業セグメント区分について：2012年3月期まで「木材建材事業」、「海外事業」、「住宅事業」、「不動産事業」、「その他」としておりましたが、2012年4月の組織改正に伴い、2013年3月期より「木材建材事業」、「住宅事業」、「海外事業」、「その他」の事業セグメント区分に変更しています。

□ 会社概要

会社概要 (2012年9月30日現在)

商号	住友林業株式会社
本社所在地	〒100-8270 東京都千代田区大手町一丁目3番2号 (経団連会館) TEL:03-3214-2220
資本金	27,672百万円
設立	昭和23年2月20日
創業	元禄4年(1691年)
営業種目	木材・建材の仕入・製造・加工・販売、 戸建住宅等の建築工事の請負・リフォーム、 不動産の管理・仲介、分譲住宅の販売等
従業員	15,020名(グループ全体)

主要関係会社 (2012年9月30日現在)

● 会社名	● 事業内容
住友林業クレスト株式会社	木質加工建材・住宅設備機器の製造・販売
住友林業レジデンシャル株式会社	賃貸住宅等の管理・運営
住友林業ホームエンジニアリング株式会社	「住友林業の家」の建築工事の請負
住友林業ホームサービス株式会社	不動産の売買・賃貸借の仲介
住友林業緑化株式会社	外構・造園・環境緑化工事の請負、樹木等の販売
住友林業ホームテック株式会社	戸建住宅・集合住宅等のリフォーム、 「住友林業の家」のアフターメンテナンス
PT. Kutai Timber Indonesia (インドネシア現地法人)	合板・パーティクルボード・ 木質加工建材等の製造・販売
Alpine MDF Industries Pty Ltd. (オーストラリア現地法人)	MDF(中密度繊維板)の製造・販売
Nelson Pine Industries Ltd. (ニュージーランド現地法人)	MDF・LVL(単板積層材)の製造・販売

役員 (2012年9月30日現在)



● 取締役

*取締役 会長	矢野 龍
*取締役 社長	市川 晃
*取締役	上山 英之
*取締役	早野 均
取締役	笹部 茂
取締役	渡部 日出雄
取締役	和田 賢

(注) *は代表取締役

● 監査役

常任監査役(常勤)	塩崎 繁彦
監査役(常勤)	田中 秀和
*監査役	寺本 哲
*監査役	永田 信
*監査役	平川 純子

(注) *は社外監査役

● 執行役員

執行役員 社長	市川 晃
執行役員 副社長	上山 英之
専務執行役員	早野 均
常務執行役員	笹部 茂
常務執行役員	渡部 日出雄
常務執行役員	和田 賢
常務執行役員	福田 晃久
常務執行役員	光吉 敏郎
常務執行役員	高野 誠一
常務執行役員	梅木 孝範
執行役員	安田 敏男
執行役員	片岡 明人
執行役員	高桐 邦彦
執行役員	佐藤 建

□ 株式の状況 (2012年9月30日現在)

株式の状況

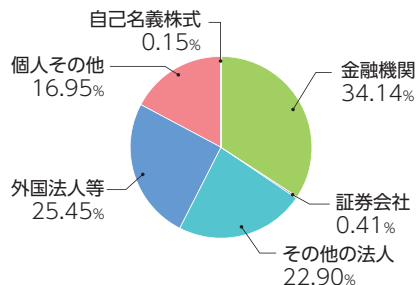
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	177,410,239株
株主数	12,676名

大株主

● 株主名	● 持株数(千株)	● 持株比率(%)
住友金属鉱山株式会社	10,110	5.69
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	8,565	4.82
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	6,711	3.78
株式会社伊予銀行	5,849	3.29
住友商事株式会社	4,383	2.47
住友生命保険相互会社	4,227	2.38
株式会社百十四銀行	4,197	2.36
株式会社三井住友銀行	4,136	2.33
住友林業グループ社員持株会	4,065	2.29
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	3,859	2.17

(注)持株数および持株比率については、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

株主分布 所有者別分布状況



株主メモ

単元株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	(1) 定時株主総会 毎年3月31日 (2) 期末配当金 毎年3月31日 (3) 中間配当金 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催

株式に関するお問合せ先

●住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

(株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

(株主名簿管理人事務取扱場所)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-176-417

(※2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

●特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

●公告方法

電子公告により行います。

(公告掲載アドレス<http://sfc.jp/>)

ただし事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

●上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部、大阪証券取引所市場第一部

●証券コード 1911



 住友林業

<http://sfc.jp/>

